

保護者の皆様へ

令和元年度の学校評価を以下のとおりまとめましたので、ご一読ください。次年度もご支援をよろしくお願いいたします。

令和元年度 小林市立須木中学校 学校の自己評価及び関係者評価書

4 段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者のコメント
知育	重点目標：キャリア教育の視点を踏まえた学習指導の工夫・改善と学力向上【自ら考える】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 須木のアップタイムで基礎・基本の定着を図ることができました。コンテストに向けて意欲的に学習し、満点や高得点が多数出るなど、教科によっては期待以上の成果を出すことができました。 ○ 「学力向上デー」を設定し、意識の高揚を図りました。また、Web 学習は単元末に実施し、その日のうちにフィードバックまで確実に行いました。 ○ 学力コンテストの内容については、単なる語句の暗記テストにならないように、随時見直しをしていく必要があります。また、年度末の学びの確認の時期に補充・見届けの時間を設定することが必要です。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 須木のアップタイムでの基礎・基本の定着を図る事は、素晴らしい取組だと思います。何事も基礎と基本が無ければ、応用につながらないと思います。今後も成果に期待しています。 ○ 後で振り返ることのできる「ノートのまとめ力」を身に付けてほしい。 ○ 個々の学力向上に向けて努力されている。やればできるという自信に繋がっていると思う。 ○ 多くの職員が参観する事で、個々の意識が高まると思うので続けてほしい。 ○ 宮日新聞に掲載される事で自信をつけていくと思う。 ○ 短歌・詩・作文の創作・ものづくりへの意欲を高める指導が実を結んでいます。更に全学年に広げてほしい。 ○ 新聞投稿は、生徒の自信にもつながる取組で、読者も楽しみにしています。 ○ 個別指導や補充的な指導もして頂く事は、生徒が苦手な所や、不足している所を改善でき、成長につながると思います。 ○ 少人数ならではの個別指導等の充実が図られていると思う。
	1 学習指導の充実と授業力向上 (年8回学力コンテスト実施：90点以上が80%以上、Web100%実現)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究公開で、本校区の研究の成果を外に向けて発信することができました。 ○ 重点支援校訪問を受けて全職員が年3回の授業公開を行い、改善を図ることができました。次年度は、他教科の授業を見合う機会も増やしていきたいと考えています。 			
	2 全体研究授業(年2回)及び校長参観授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英検受検率・取得率が、学年によっては80%を超える成果を上げました。 ○ 各種作品応募への取組については、数多くの入賞者を出すことができ、ものづくりで全国大会にも出場者を出すことができました。 ○ 新聞投稿では、毎月数名の作品の新聞掲載が継続的にあり、読者の方からお礼の手紙をいただく機会もありました。次年度は、英検受検率・取得率共に全校で80%になるように働きかけていきたいと思っています。 			
	3 作品展・検定試験への挑戦 (英検受検率80%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの教科で、昼休みや放課後を使って再テストや個別指導など、補充的な指導を行うことができてきました。 ○ 年4回のノーメディアデーを着実に実施し、担当が各回の統計を出し、生徒や保護者の意識の向上を図ることができました。 ○ 家庭学習の内容については、今後も継続した指導が必要です。 			
徳育	重点目標：社会の変化に対応できる能力と郷土を愛し他人を思いやる心の育成【自他を尊重する】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小林市社会福祉協議会須木支所との連携により、年5回のドリーム・ジャンボ学園(職業講話)を実施することができ、生徒が様々な職業について知識を得ることができました。その結果はKSSVCの通信にも掲載され、市内各校へも情報発信されました。 ○ 地域で行われる行事については積極的に参加するように促し、須木花火大会やほげ祭りでは準備や片付けなどにほぼ全員の生徒が参加して盛り上げました。 ○ 部活動の計画の際は、地域行事に配慮するよう心がけました。 ○ 毎朝のボランティア活動も生徒会主体に移行しつつありますが、次年度は生徒が自ら企画・運営する力を身につけさせ、様々な場面で夢を語ることでできる機会を増やしていきたいと考えます。 	3	4 (3.6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域行事に参加する事は、郷土愛の醸成につながり、ドリーム・ジャンボ学園で職業講話を聞く事で、キャリア教育につながると思います。 ○ キャリア教育、学校では教わらない「お金のかせぎ方」あたりを考えさせてもよいのではないのでしょうか。(これから多様な時代を生き抜くために。) ○ 地域行事への参加で人間形成ができると思うので続けてほしい。 ○ 何といってもあいさつが一番、徹底してもらいたい。 ○ 読み聞かせ等、我が子を持った時にも大切な事。続けてほしい。 ○ 須木図書館のお勧め・新刊など利用の呼びかけをお願いします。 ○ 読書は大切だと思っています。 ○ 道徳の授業で育つ人間性は大きいと思うので大事にしてほしい。 ○ 地域の資源(人・もの・文化)を子どもたちに調べさせ、課題発見につなげてほしい。 ○ SNSなどの問題には、積極的に取り組んでもらいたいです。手話などの取組も大切です。改訂される内容に期待します。 ○ 学校や先生方、生徒の声かけなど、不登校生徒に対する取組は、しっかり実施されていたと思います。難しい問題ですが、今後も粘り強く対応をお願いします。 ○ いじめ等に関する事もなく、皆仲良く過ごせていると思う。
	1 年5回の「ドリームジャンボ学園」の実施と将来の夢を語る生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習規律徹底週間」を設け、生徒と職員の点検活動によって立腰指導を行うことができてきました。 ○ 次年度は立腰率の定義をしっかりと確認し、職員の指導において共通理解・共通実践していくことが必要です。 			
	2 あいさつ、立腰等基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館支援員や協力員と共に、図書室の工夫改善を行うことができ、生徒の利用率や読書量を増やすことができました。読み聞かせと読書週間を教育課程上に位置付け、生徒による図書の紹介も委員会活動で実施することができました。 			
	3 年8回の「読み聞かせ」と年3回の「読書週間」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ こすもす科・道徳科共に授業を着実に進めることができました。今年度教科化された道徳科の指導や評価について、次年度改訂されるこすもす科の内容についての研修も同時に行い、共通理解を図ることができました。 			
	4 「こすもす科」の推進及び道徳教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめアンケート、教育相談共に定期的実施することができ、気になる案件について迅速に対応することができました。不登校生徒に対する対策委員会を重ね、外部専門機関と連携しての指導を今後も継続していきたいと考えます。 			
5 いじめ、不登校0の実現					

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者のコメント
体育	重点目標：基礎体力や運動能力の向上と健康・安全に対する意識の高揚【自ら鍛える】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年3回「チャレンジ体力アップ週間」を実施し、中総体やロードレース大会に向けて、体力アップを図ることができました。 ○ 体育の授業で基礎体力向上のための運動を実施することもできました。 ○ ロードレース大会や体力テストの結果を見ると、自己ベストを更新することができた生徒も多数いました。 ○ 次年度は、小中一貫して行う体力向上の取組内容や体力テストの結果等を、職員間で共通理解する場を設け、さらなる体力アップにつなげる必要があります。また、委員会を動かすためのリーダー育成も必要です。 	3	4 (3.6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力低下が言われているので向上を目指してほしい。 ○ 須木の生徒は他校と比べて、体力が低い様に思います。更なるチャレンジ体力アップの取組に期待します。 ○ 基礎体力を養うために、朝の1、2分、ストレッチやスクワットなど体幹を鍛える運動を生徒に考えさせてはどうか。
	1 年3回の「チャレンジアップ週間」を通しての体力向上				<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動の県大会出場など、先生方の指導のおかげです。今後も期待しています。
	2 主体的に取り組む部活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業において、「速力」「ハンドボール投げ」の記録を向上させる準備運動を継続して行うことで、スコアアップを図ることができました。 ○ 剣道部、ソフトテニス部の両部活動において、各種大会や練習試合に積極的に参加することができ、上位に入賞する生徒も育ってきました。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 今必要な性教育指導がしっかり位置付けされている。
	3 性教育の計画的実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性教育については、発達段階に応じて内容を精選し、各学年計画的に準備することができました。次年度は性教育指導週間を設定する予定です。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭への啓発が十分になされていると思う。
	4 虫歯治療率100%及び肥満度30%以上の生徒を減らす指導推進 5 実践的な安全・防災教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯治療率については、今年度中に100%達成できる見込みです。虫歯の治療や肥満につながる食生活などの改善については、家庭への啓発を今後も続けていく必要があります。 ○ 火災、地震、不審者対応の避難訓練を年3回確実に実施することができました。御池少年自然の家で、1年生の防災教育も行うことができました。次年度は職員向けの防災研修も取り入れます。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種災害がいつどこで起こるか分からない現状。自分の身は自分で守るための訓練を続けてほしい。
食育	重点目標：食育の重要性を意識させる教育の充実【自ら関わる】	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランチルームでの全校一斉給食で、全職員で給食指導ができました。給食便りも定期的に発行され、積極的に情報発信がなされています。 ○ 朝食摂取率は100%に近い値であると思われそうですが、アンケートによる正確な把握ができていないため、次年度は実施を検討していきます。 ○ 給食を時間内に食べ終わることができるよう指導を継続していきます。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食生活は大事。朝食をしっかり食べる事の大切さを伝えてもらっていると思う。 ○ ゲーム・スマホなど、深夜に行っていないか気になるところです。日々の日誌でチェックをお願いしたい。 ○ ランチルームでの一斉給食は、須木ならではの取組であり、私も以前参加しましたが、先生と生徒が全員で給食を食べている時間は、コミュニケーションとして最高の時間だと思います。 ○ お弁当の日を嫌がっている保護者もいると聞きますが、だからこそ、お弁当の日が必要だと感じます。 ○ お弁当の日の実施で親への感謝の気持ちに繋がると思う。 ○ 食育だよりの発行によって、保護者の子どもに対する食意識が変わると思う。
	1 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と朝食摂取100%実現				
	2 年3回の「お弁当の日」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒も職員もお弁当づくりに熱心に取り組む、写真や家庭からの返信も含めたワークシートを校内に掲示しています。 ○ 学校便りや学級通信、食育だより等を通して、お弁当の日の啓発も行うことができました。 ○ 担当より、毎月食育だよりを通して、食育の大切さを発信できました。 			
3 「食育だより」の定期的発行と保護者への啓発					
その他	重点目標：教職員一人一人の資質向上と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員朝会や職員会、職員研修については計画的に実施し、職員朝会については回数を減らし、生徒に向き合う時間を生み出すことができました。 ○ 組織力の向上を図るために各主任と連絡を密に取り合い、報告・連絡・相談を徹底するように心がけました。次年度は、さらなる連携の強化を図り、全職員が一枚岩となって生徒の指導にあたるようにしていきたいと考えます。 ○ 評価制度を活用した目標設定や中間ミーティング、フィードバックを年3回着実に実施することができ、目標の共有を図ることができました。次年度は、授業改善に関する目標値の設定を行い、さらに実践力を高めたいです。 ○ 年2回（7月、11月）のコンプライアンス点検を確実に行うことができました。点検結果についても職員会で公表し、コンプライアンス研修の中で対策について確認することができました。 ○ 校長による頻繁な更新のおかげで、本校ホームページの閲覧者数が増加し続けています。学校便りや学級通信は定期的に発行されており、保護者や地域に向けての情報発信が頻繁に行われています。 ○ 地域で行われる行事や会議などには職員が必ず出席し、地域との連携・協働を心がけました。 ○ リフレッシュデーの月曜日への位置付けは完全実施できており、職員への定時退庁についての声かけもなされています。部活動における平日1日以上、土日の月4日（2ヶ月8日）以上の休業日の設定も確実に実行されています。次年度は、「働き方改革」をさらに進め、職員の心身の健康維持に努めていきたいです。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員朝会を減らし、その時間を生徒に向き合う時間として増やした取組には驚きました。報・連・相の組織体制ができていからこそ取り組める事と思います。 ○ 職員同士の連携は大切な事。密にしてほしい。 ○ 評価制度は難しいと思うが、人材育成には必要だと思う。 ○ コンプライアンス点検のしすぎはないと思います。よその事例を元に毎日意識させてほしい。 ○ HP更新には感心させられました。すみません。大変だと思いが続けてほしい。 ○ 多忙な毎日なのでリフレッシュデーはとても大切と思うので、これからも完全実施してほしい。 ○ 学校からの通信などで知ることが多いので、大変でしょうが続けてほしいと思います。HPも拝見しましたがすばらしいHPでした。 ○ HP閲覧数増はこまめな発信のたまものです。PTA新聞共に表彰ものです。 ○ 多忙な毎日なのでリフレッシュデーはとても大切と思うので、これからも完全実施してほしい。
	1 組織力の向上「報告・連絡・相談」の徹底				
	2 評価制度を活用したフィードバックによる人材育成				
	3 コンプライアンス研修の実施・充実				
	4 家庭・地域及び関係機関、企業等との連携、協働				
5 「働き方改革」に伴うリフレッシュデーの完全実施と部活動運営の工夫・改善（部活動の量から質への転換）					

次年度の方向性についての校長所見

今年度は、市の小中一貫教育推進モデル校として、11月の研究公開をおとして小学校と連携した本校区のエデュケーションについて外部に発信することができました。目的意識をもち、確かな学力を身に付けさせるための授業づくりや環境づくりに関する様々な取組を、小学校と連携して行うことができました。公開準備の奉仕作業や当日の案内・受付等において、保護者や地域の方々にも多くの協力をいただきました。次年度も令和3年度からの新学習指導要領完全実施に向けて、研修を重ねながら学力向上に取り組んでいきたいと考えております。また、本校では、令和3年度に全国へき地教育研究大会の開催も控えており、今年度の反省を踏まえ、今後も継続して知・徳・体・食をバランス生徒の育成を図り、地域の良さを大切にしながら行事やボランティア活動に積極的に取り組み、地域に貢献できる生徒を育成していきます。